環境公共 通信

第５９号　令和５年10月
発行／環境公共推進会議事務局
〒030-8570 青森市長島1-1-1
青森県農林水産部農村整備課内
TEL017(734)9545 FAX 017(734)8153

■最近の話題

鶴の舞橋の改修工事が始まりました

鶴の舞橋は、鶴田町の廻堰大溜池に架かる木製の橋で、県営水環境整備事業により平成３年度から建設され、平成６年７月に開通式が行われました。県産ヒバを使った三連太鼓橋で、岩木山を背景にした舞橋の姿が、鶴が空に舞う姿に見えると言われています。

鶴の舞橋　改修工事の様子

これまで定期的な点検と補修が行われてきましたが、供用開始からおよそ 30 年が経過し、木材の傷みによる欠損などが見られるようになったことから、橋脚の補強や床板の交換により長寿命化を図るため、令和５年度から令和７年度にかけて大規模改修工事を実施しています。これに伴い、工事期間中（９月１日から３月 31 日）は全面通行止めになります。なお、工事期間外の４月１日から８月 31 日までは通行が可能です。

今年度の工事内容

今年は、富士見湖パーク側のアーチの改修に着手しています。

工事期間中、鶴の舞橋を渡ることはできませんが見学は可能です。

制作された模型（登ることも可能）

工事にあたり、10m の実寸大模型を制作して技法・工法の実用性を検証しました。制作された模型は富士見湖パーク内で見学可能で、模型の上に登ることもできます。この機会に制作された実寸大の橋を間近で体感してみてはいかがでしょうか。

工事見学会や進捗状況について

工事を監督する西北地域県民局では 10 月 18 日(水)に、県職員を対象とした木橋架設や下部補修方法の現地研修を開催する予定です。現地研修会の様子については、別途環境公共ブログでの情報発信もできればと考えております。

また工事の進捗については、①鶴田町観光ウェブマガジン「メデタイ・ツルタ」や②工事受注者の齋勝建設㈱が開設した「大改修追っかけサイト」でも進捗状況をご覧いただけます。

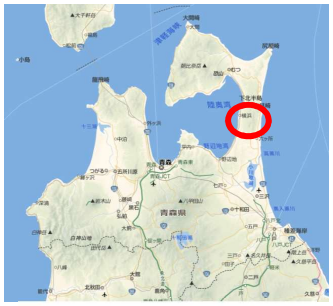
①「メデタイ・ツルタ」
URL:https://www.medetai-tsuruta.jp/19164.html

②「大改修追っかけサイト」
URL:https://saikatsu-tsurunomaihashi.jp/

■「環境公共」事例紹介

八森地区（六ヶ所村）～県内唯一の公設乳用牛周年預託施設～

1　地区の概要



位置図

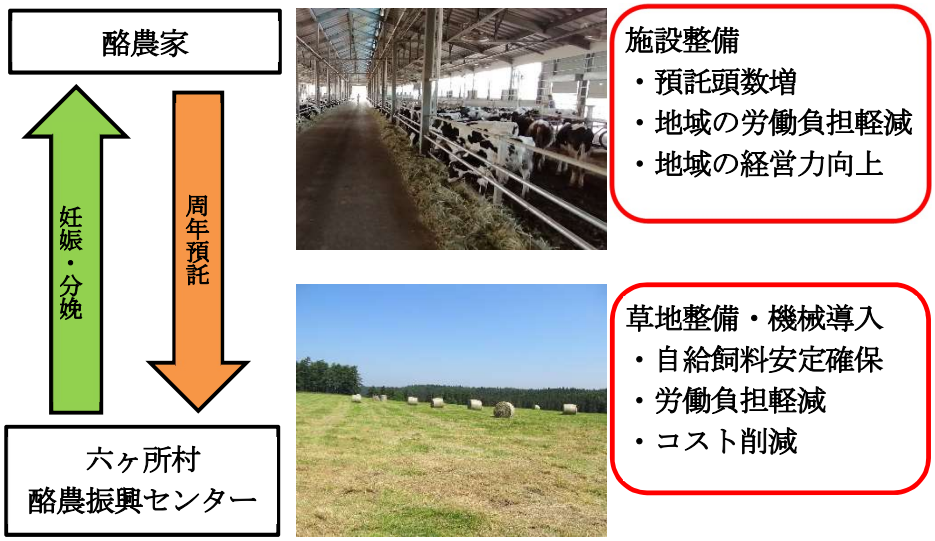
六ヶ所村平沼に位置する六ヶ所村酪農振興センターでは、草地畜産基盤整備事業 八森地区（R5～R9）を実施しています。

輸入飼料価格の高止まり、酪農従事者の高齢化、後継者・労働力不足などの課題に対応するため、本センターの草地整備による自給飼料の増産、家畜保護施設等の整備による乳用育成牛の受入頭数増、畜産農家の労働負担軽減を図り、地域の酪農経営の持続的な発展を推進します。

2　周年預託施設について

六ヶ所村酪農振興センターは、県内で唯一の公設乳用牛周年預託施設です。季節を問わず酪農家から乳用子牛を預かり、搾乳可能な適齢期まで育て妊娠した牛を農家に返します。乳牛の管理だけでも多大な労力がかかっている酪農家にとって、子牛の育成は大きな負担となります。本センターが子牛の育成を請け負うことで、乳牛の世話、牛乳の生産等に専念できる体制を構築することができることから、地域の酪農家は労働負担低減、収益力向上を図れます。公設の施設であることの安定性も含め、六ヶ所村酪農振興センターは地域の酪農経営において重要な役割を担う施設となっています。

地域の子牛を預かる重要な役割を担う本センターですが、経年による草地の生産性低下や施設の老朽化により、輸入飼料利用に伴うコスト増や地域の子牛を預かりきれない状態が生じています。このような状況を改善するため、草地畜産基盤整備事業を実施し、事業完了後は、施設規模拡大等により、預託待機牛の解消、高品質な自給飼料の安定的な供給が可能となる見込みです。



八森地区草地畜産基盤整備事業の概要

3　今後の取組

八森地区では、令和５年度に測量設計、令和６年度から工事着手して、令和９年度の完了を予定しています。設計では増加する頭数に合わせた施設規模、構造に加え、預託牛のストレス低減、家畜ふん尿の効率的かつ環境に配慮した堆肥化方法等についても検討しています。地元関係者との協議も綿密に行いながら、地域酪農業の持続的な発展を見据え、整備を推進していきます。

「環境公共」HP　https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/kankyoukoukyou.html